

神社仏閣をはじめとする歴史的な文化財が多数ある

信州の懐に抱かれて。

KATO
PRECISION RAILROAD MODELS

3月発売

115系 長野色 1000番台 N

長野総合車両所所属の115系1000番台は平成4年(1992)以降、フォギーグレーをベースに窓回りをアルパインブルー、リフレッシュグリーンのストライプを巻いた爽やかな塗装に順次変更が行われました。以後20年以上に渡り同地区を中心に信越線・中央線・飯田線など広範囲で活躍を続けてきましたが、211系の投入により、平成27年(2015)10月28日に定期運転を終了しました。横川-軽井沢間の碓氷峠でも活躍していたこのカラーは、今もしなの鉄道で見ることが出来ます。

- 先頭部連結可能。ヘッド・テールライト・前面方向幕点灯(消灯スイッチ付、電球色LED式)
- 冷房改造後の姿(冷房装置はAU75Gステンレスキセ搭載)を再現。
- 循環式汚物処理装置、側面方向幕装備、列車無線アンテナ(台座は先頭部屋根傾斜対応形)装備の姿を再現。
- 長野総合車両所所属車の特徴である、側面の行先サボ受けの無い車体を再現。
- ジャンパ栓(KE76)を別部品で再現。引き締まった前面表情を演出。